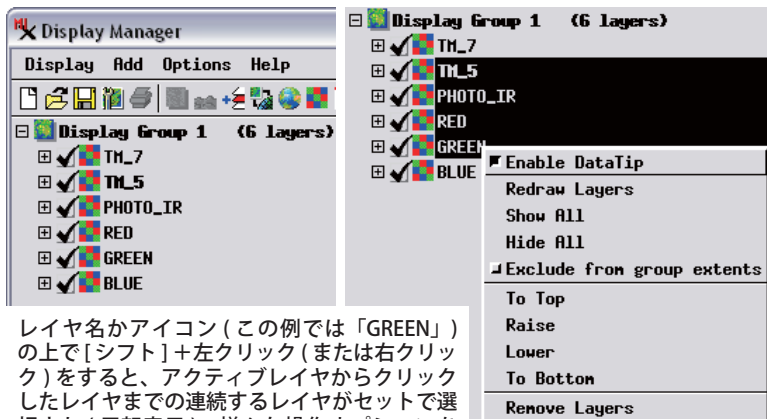


## 複数レイヤへの操作

表示ウィンドウに複数の地理空間レイヤを表示している際、表示マネージャのレイヤリストを使うと、アクティブレイヤと隣接する一連のレイヤに対し、選択や各種の操作を同時に行うことができます。対象になる一かたまりの最後のレイヤの上で、シフトキーを押しながらマウスの左クリックや右クリックをすると様々な操作が行えます。

表示中のレイヤの一つは常に**アクティブレイヤ**に指定されています。表示マネージャのレイヤリストでアクティブレイヤ名は太字で表示されます。レイヤリストのレイヤ名の上で左クリックをするとアクティブレイヤになります。



レイヤ名かアイコン（この例では「GREEN」）の上で[シフト]+左クリック（または右クリック）をすると、アクティブレイヤからクリックしたレイヤまでの連続するレイヤがセットで選択され（反転表示）、様々な操作オプションをもつメニューが開き、選択中のセットの全レイヤに対して適用することができます。

### 複数レイヤを選択して操作を行う

レイヤ名かアイコンの上でシフトキーを押しながら左クリック（または右クリック）をすると、アクティブレイヤからクリックしたレイヤまでの連続するレイヤをセットで選択できます。このレイヤセットはレイヤリスト上で反転表示され（上図参照）、メニューが開いて、選択中のセットの全レイヤに対して適用する操作を選ぶことができます。複数レイヤの選択をするためには、表示マネージャがアクティブウィンドウである必要があります。

**データティップを表示（トグルボタン）**：表示設定でデータティップが指定されているレイヤに対してこのオプションを使用すると、選択中のレイヤセットのデータティップ情報の表示、非表示を切り替えることができます。選択した状態では個別レイヤの表示設定の保存には影響しませんが、グループやレイアウトを保存すると指定されたレイヤに対する現在のセッションのデータティップの状態が保存されます。

**レイヤの再描画**：表示ウィンドウに選択中のレイヤを再描画します。

**すべてを表示 / 非表示**：表示ウィンドウで選択中の全レイヤを表示 / 非表示にします。

**グループ範囲から除外（トグルボタン）**：選択中のセットのレイヤの範囲をグループ範囲から除外するか含めるかをトグルで切り替えます。

**一番上へ、上げる、下、一番下へ**：選択中のレイヤセット

にグループの全レイヤが含まれていない場合、このメニューが表示されます。このメニューを選択するとグループの他のレイヤに対する選択中のレイヤセットの順番を変えます。選択中のレイヤセットに一番上のレイヤが含まれている場合、[一番上へ]と[上げる]は無効になり、選択中のレイヤセットに一番下のレイヤが含まれている場合、[下]と[一番下へ]は無効になります。

**Remove Layers(レイヤの削除)**：選択中の全レイヤをグループから削除します。

### 複数レイヤの表示 / 非表示の切り替え

レイヤの[表示 / 非表示]チェックボックスの上でシフトキーを押しながら左クリックや右クリックをすると、表示ウィンドウのレイヤセットの表示を異なる方法で切り替えられます。

**ア)** シフトキーを押しながら[表示 / 非表示]チェックボックスを**左クリック**するとアクティブレイヤからクリックしたレイヤまでの連続の表示状態を即座に変更できます。この操作をした時に全レイヤが非表示の状態なら、全レイヤは表示に再設定され、表示の状態なら非表示に再設定されます。この操作をした時に選択中のレイヤセットの一部が表示、一部が非表示の場合は、クリックしたレイヤの状態が結果が決まります。例えば、この操作でクリックしたレイヤが表示に切り替わる場合、選択中の全レイヤが表示に設定されます。



[表示 / 非表示]チェックボックスの上で[シフト]+右クリックすると、選択中のレイヤセットが反転表示され、開いている表示ウィンドウとロケータそれぞれに対してトグルボタンがついた[レイヤの可視性]メニューが開きます。

**イ)** [表示 / 非表示]チェックボックスの上でシフトキーを押しながら**右クリック**すると、上記のようにレイヤセットが選択、反転表示され、開いている表示ウィンドウとロケータそれぞれに対してトグルボタンがついた[レイヤの可視性]メニューが開きます（上図参照）。例えばこの操作では、2D表示や3D表示のレイヤセットに対して異なる表示状態を設定できます。